滿州日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議從減　每張四百文

[illegible]豆行情（中曆十二月初十日）
青豆價錢六吊川百七十文至六吊二百文
合夏價錢五吊六百文至五吊四百五十文
小米價錢七吊㳄百文至七吊二百七十文
紅糧價錢五吊五百文至四百五十文

[illegible]　仝九斤入　同五圓
仝味[illegible]　仝　同四圓
赤味噌　大樽　同九圓三十錢
札幌麥酒　四打入　同九圓八十錢
蜂印香竄葡萄酒　仝　同二十二圓五十錢

仝[illegible]　仝二打半　同二十[illegible]圓
筍[illegible]　四打　同八圓五十錢
梨[illegible]　仝　同十一圓
桃[illegible]　仝　同九圓五十錢
人形ミルク　仝　同十二圓五十錢

[illegible]栗[illegible]　お[illegible]
仝　小四百五十本入　同十圓　同二十[illegible]四[illegible]
六千二百本入　同十六圓
澤鑑サッポロビール　正味四斗四升入　十七圓　九圓七十錢
（宅合名會社調査）

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

告料　一[illegible]　一ヶ月以内[illegible]　銀十五仙乃至十[illegible]
一長期連掲減價面議
發行所　淸國營口中盛街　滿洲日報社　（電話二九番）

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千零拾四萬圓
本支店、出張所
横濱　神戸　東京　長崎　大阪
倫動　里昻　紐育　桑港　布哇
孟買　香港　上海　天津　北京
大連　旅順　奉天　芝罘　鐵嶺
電話　十番　支配人室
百八番　事務室
横濱正金銀行牛莊支店

滿洲日報各地賣捌所
滿洲日報廣告取次所
大連市穩岐町三百三十八號
日華運輸公司

遼陽　遼陽俱樂部
谷口今朝太郎

各種毛皮類廉價發賣
滿洲蒙古各原產地より直仕入致し廉價を以て卸小賣仕候間多少に拘らず御注文被成下度候
營口元神廟前電話九十番
滿蒙出產物取扱商
瀛華公司

醬油釀造販賣
●樽詰●瓶詰●桝賣
卸小賣共精々廉價に販賣仕候御進物として至極体裁宜しき特製四合入瓶詰一打箱入も有之候間多少に拘はらず御用被仰付度奉希上候尙御用の節は下名の內何れにても電話にて御申付被下候はゞ直に御屆け可申上候
綏定門街　**東肥洋行**（電話一七號）
二官街　**東來醬園**（電話百二號）

石炭廉價販賣
麥酒白鹿新荷着
松茂洋行商業部（電話五十二番）

三井洋行
倉庫部
今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は仝所へ御照會被下度願上候
（電話百二十八番）

●精製白砂糖新入荷物あり
啓者本行開創在中外通商各埠己有年歷所售棉紗棉布火柴煤炭糖海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

宮名會社鎰
本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤鑑印并一切雜貨其名譽己傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街同盛德院內分設支店一所發賣綿絲粗布火柴絲布絨衣荷標布手巾花巾東洋緞子洋䌽鐘表貨物俱全而價值尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請辱臨爲幸
總司理人　田中賴之助謹白

☘**東盛和**
本號在營口創設二十餘年專辦出口紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船方寛大凡泊輪船一船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米宜兼置有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉貴客賜顧請到小號面議更爲合荷
總司理人　葉亮卿謹白

☘**東永茂**
機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇通知之正理事潘玉田　副理事金德魁
設在營口西北街路南

☘**西義順**
本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寛大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞
本主人敬啓

☘**仁裕號**
係裝運各幇火輪船生意兼賣各幇洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北警乙第十三號

☘**恒有長**
本號開設在西大廟街路南第十一號廣福雜貨一應俱全價值格外從廉克己并另設銀爐包營鎔鑄以應急需久爲中外士商所推許凡賜顧者請認明招牌爲荷

☘**元茂盛**
油坊買賣元荳油荳餅雜色粮石以及代客購辦雜貨布疋一槪發行裝運沙䑸䑸船交易南北客商歷有年矣爲此謹白
開設營口西街老爺閣前路北警乙第四十九號

☘**德商瑞生洋行**
啓者本行由外洋運來金山松木大小方子厚薄板片以及樓板並有道木性皆堅固貨高價廉賜顧者乞至本木廠面議
營口西街潮溝西本行主人啓

☘**代代木烟公司**
本行專售日本官造紙烟　星象牌（斯達）櫻花牌（提利）百合花牌（利利）均已馳名內外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆沽來福）淸香撲鼻佳美適口而價値極廉諸君欲購可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

飯塚工程局材料出售
啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價値格外從廉克己凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞
本主人啓

森病院
一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
一往診　午後三時より
△患者の入院治療を諾す
△貧困患者の施療は正午十二時より一時迄
姙婦の入院を諾す（取扱主任産婆大道しげ子）
院主　森 矯
醫長　鈴木昌平
營口永世街（電話一五五番）

宮崎工程局
電話一七七番
宮崎宗朝

新荷着
凍結ヲ防グ
市野永其他
保温
及普通貨物
貨物
倉庫
倉庫
賃貸
需應
東店綏定門橋畔
西店第一市場前
金升洋行（電話六十八番）
アサヒ
エビス
兩麥酒會社代理店

今在天津車站拾得皮包壹個內有洋錢頗沉重如有失主即到營口大德通票號說對其內數目即予領取不悞
喬仲吉謹白

一關內外盧漢鉄道貨物運輸（但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ハ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候）
一海關手續（但弊店事務所及郵船會社代理店內派出員ニテ事務取扱）
一鈔關手續（但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱）
一船舶荷物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業
右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候
營口西北街第二七二號
大淸通運公司營口支店

隆慶公司
開設在東圍門外自有碼頭恬豊木局以西南近馬路德記木局以北發售㑺山大小塊㭍子貨美價廉裝卸舟車極便凡賜顧者請認明招牌庶不致誤謹啓

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿州一手輸入發賣
江副洋行
營口永世街

各種材木
廉價大販賣
墟川商會
營口永世街二本町

☘**和泉洋行**
本店開設在營口重盛街、發賣毛布、手巾、小布衫、鏡子、錢袋、帽子、洋蠟、小刀及其餘各種雜貨一槪俱全價值格外從廉克己、凡中外仕商賜顧者、請速臨爲幸、
大阪府堺市熊野町　藤原謹啓

☘**田中牛莊分莊**
啓者本舖開設於東營口綏定門外經大阪九三組精造東緊身洋式襪子羊肚手巾各樣新近進口來的貨寄於本舖代售格外從廉　賜顧者請光臨本舖面閱是幸
田中牛莊分莊謹啓

材木荒物販賣
營口永世街第一八四號平野町
本店　下關　秋田寅之輔商店
秋田洋行

☘**日商東來醬園**
本醬園開創在營口双橋子南有年係請大日本著名工師自造日本醬油所造醬物料專選上等麥豆壘經沙漏之水寒熱適度加意製出故其色麗質淨味美氣芳可以供上等烹飪之用其價值甚廉非尋常市油所得而及蓋用市造之油烹物之費多而鹽梅之効少若用此油則醬味調和必諧不特于衛生之道受益不少兼爲厚生利用之妙品也賜顧紳商請嘗試之立知本醬園所言非誇張之談矣
本園主人謹白

代理道勝銀行
啓者本行代理道勝銀行匯兌以及押款借款等項格外公道如蒙賜顧請移玉本行帳房面議可也
德商瑞記洋行代理人謹啓

貸金業
確實なる擔保品には精々勉强安利を以て御相談に應す
南永世街百二十七號
質屋　富田茂治

東京電報

●外國皇帝の親電
皇室には本年より英國獨乙西班牙白耳義伊太利及び暹羅皇帝の親電を受けさせらる（一月一日特別通信員發）

●英國親王來着期
英國親王殿下二月十九日横濱御着の旨御内報ありたり（一月三日特別通信員發）

鐵嶺電報

●野津司令官の凱旋
第四軍司令官野津大將は其幕僚を率ゐ明日午後六時當地を經て凱旋の途に就かる

●開原軍政分署開設
開原へは鐵嶺軍政署より分署を置き事務を開始せり（以上一月三日發）

倫敦電報

●莫斯科の秩序回復
莫斯科に於ては秩序回復し商賣は平常の如く行はれつゝあり（十二月三十日發）

●露政府の精神的一大勝利
モスコーの革命騷動は突如として頓挫せるもの〻如し該騷動に於ける損害高及び死傷數の正確に至ては之れを知るに由なし最初報せられたる死傷數は多きに失するが如し政府が此度精神的一大勝利を得たることは一般に認むる所なり

●モロッコ會議の開會
モロッコ會議は一月十六日を以てアルジエリアに開會することに確定せり（以上十二月卅一日發）

●革命蹉跌の影響
モスコーに於ける革命騷動の蹉跌は直ちに其影響をセントピーターズボルグに及ぼし勞働者は本日より就業することゝなれり政府はモスコーの蹉跌と共に革命の後援失せたりと自信す

●日清駐在獨乙公使の更替
駐清獨乙公使と駐日獨乙公使は互に其任地を交換すべき旨伯林に於て發表されたり（以上一月一日發）

●佛國外相の新年宴會
佛國外務大臣の催ふしたる新年宴會に於てトルニエヲー氏は各國使臣を代表して演説し日露兩國間平和の成立と國際的一致の發達とに對して滿足の意を表し併せて世界列國に於ける平和的傾向を見て最も喜ぶべき結論を得たりと述べたり

●モルトケ中將の補任
孛佛戰爭の總司令官たりしモルトケ元帥の姪モルトケ中將はシエフエン將軍に代りて獨乙國參謀部長に任ぜられたり

●恐るべき鐵道線路の狀態
セントピーターズボルグの諸新聞はシベリヤ鐵道線路に於ける恐しき狀態を寫し出せり、全線路の監督者は皆何れへか姿を隱し陸兵及び水兵は各停車場を掠奪しイルクックの如きは全く無政府の有樣となれり軍隊輸送の列車は命令を待たずして勝手に進行しつゝあり

●露兵の波蘭進入
露國政府はバルチック沿岸州を鎭定することの最も困難なるを自覺し今や大規模の冬期戰鬪準備を行ひつゝあり軍隊は今既に四方面よりポーランドに進入しつゝあり

●清國陸軍とタイムス
倫敦タイムスは其軍事通信員が袁世凱の軍隊の訓練規律共に良好なるを賞賛し其軍隊を四十三万人に增加すべき計画あることを述べたる、二長篇を掲載し説を附して曰く清國にして果して其計画を實行するに至らば全國の獨立及び領土の保全に就ては再び他の列國を煩はすことなかるべしと

●茶稅反對團體の宣言書
茶稅反對の團體は已に中立的選擧運動を開始せしが今や議論堂々たる宣言書を發表せり

●タイムスの議席計算
タイムスの計算によれば自由党が議會に於て統一党に打ち勝たんと欲せば七十六の議席を要し淮統一派をも合せて之れに當たらんと欲せば百十七の議席を要すと云ふ

●再選擧を希望せず
前衆議院議員の百三十名は再選擧を希望せず（以上一月三日發）

雜報

●聖上頌德三唱
去る二十二日正午宮中豐明殿の御宴に於て伊藤侯は勅許を得て左の頌辭を述べ陛下の萬歲を三唱し奉つりたりと

空前の大鴻業を樹てさせられたる 大元帥陛下は大本營復員に際し玆に優渥なる御宴を開かせられ微臣亦席末に陪するに當り特許を得謹んで一言せんとす今回の大戰役に於て常に陛下に咫尺し文に武に此大鴻業を翼賛したる諸官を召させられ優渥なる御宴を賜はるは實に曠古の盛典にして我々一同の甚た感激に堪へさる所なり此の光榮ある御宴に於て 天皇陛下の萬歲を奉祝するの新例を啓くの名譽を賜はらんことを仰望す又此の吉例は空前の盛典に屬すると共に文武諸官の將來負はるゝ責務の益ゝ重大なるを思ひ謹んで忠誠を誓ひ彌ゝ奮勵して 聖恩に答へ奉つらんことを期せざるべからず謹んで滿腔の誠意を捧げ 聖壽の無疆を奉祝せん 天皇陛下萬歲

●陸海兩相辭意
新内閣組織に際し陸海軍大臣だけは現任の儘となり居たるに聞く所に據れは兩相とも留任を欲せず就中山本海相の辭意は到底動し得さる迄に立至り居れは陸海軍兩大臣とも交迭を免れさる可しと云ふ者ありと

●參謀總長と桂伯
大山參謀總長は桂内閣の交迭を機とし其の職を桂伯に讓りて宿昔の志を果さん事を望み居る由なるが後の批判は兎も角桂伯は暫く政界を退きて參謀總長の顯職に就くならんとの說もあり

●議院の獨立
議院の獨立を鞏固ならしめんが爲め先づ院の會計を内閣より分離し全く獨立すべしとの議は前年來の問題にして既に林田翰長を中心として調査に從事しつゝありしが先頃略脫稿し本期議會に提出すべしとの内議ありしも尙審査熟考の必要ある爲め暫く提出を見合はせ議會開會後議長の提案として各派より數名の委員を選擧し更に調査を重ねたる末提出する事となるべしと

●最長期内閣
桂内閣は去る二十一日を以て總辭表を奉呈せるが桂内閣の初めて組織されしは三十四年六月一日にして今日まで滿四年七個月なり憲法制定後に於ける最長期内閣なり斯く永續したるは全く政黨の墮落と日露大戰の庇蔭に外ならすと

●東清鐵道と外資
京義鐵道の敷設工事費は總て軍事費にて支辨せられたるが東清鐵道の經營及改修に要する費用も明年度豫算中に編入計上され居らざる由にて多分外國シンジケートをして其工事を引受しむる事ならんと傳ふ

●軍事參議官新補說
軍司令官として日露戰役に從事したる乃木大將川村大將を初め師團長中武勳卓絶にして大將に進級すべき者并に現大將にして失職となる者は何れも軍事參議官に補せらるゝ由

●新外相候補
新内閣の外務大臣たるものは列國大使等に對する關係上閱歷、技倆共に第一流の人材を以て之に擬せさるへからず加藤高明氏は前大臣にして且手腕十分なれとも政友會及び貴族院研究會派は頗る之を悅ばざれば或は駐英大使林董氏を擧げて之に任ずへしとの說あり

●駐英大使候補
林駐英大使にして若し外相に轉任する場合には其の後任として加藤高明氏就任す可きことに内定し居れりと

●北京通信
一月二日特別通信員報

▲日清協約の結果

日露戰爭の最終決定として久しく中外の注目を惹ける日清交涉も日を費すこと月餘談判を重ぬる二十回にして全く終局を告げ小村大使は既に燕京を辭して歸國の途につけり而も日清讓判の秘密の鍵は依然として鎖され吾人は唯或者を通して其一端を見たるのみ嗚呼是れ日清兩國の爲めには大に賀すへしと雖も吾人新聞記者の身に於ては幸歟抑も不幸歟

蓋し吾人が曾て或者によりて知り得たる一部の消息は既に電報により逸早く諸君に報したるを以て今更くだ〳〵しく復習をなさすと雖も既に諸君の腦中に鑄まれ居るならん故に吾人は唯だ機に應じ事に臨みて聞き得たる材料を前提として諸君が尤も知らんと欲する日清協約の結果を報道すべき也

夫れ此の度我が全權の提議せる所は既に電報せる如く東洋平和を基礎として其上に日清兩國の安息し得べき避難塲を建設すべき條件十一條にして談判の進行と事情の必要とによりて追加せられたる附帶條項六條なり其内容の如何は秘密にして知るべからすと雖も苟も東亞大局に目を注ぎ我國將來の發展に注意する諸君は吾人の說明を待たすして既に其の内容の要領を知るべき也斯の如くして我の要求條件を提出するや淸國全權は是に對して反對條件若くは其他の獨立條件を提出し玆に兩全權の舌戰は開始せられ彼此共に其壘に據り巧に其外交手段を振へり我れ東洋平和の礎によりて攻擊すれば彼れ體面論の砦を築きて是を防ぎ彼れ哀願の矢を依てば我れ正義の楯によりて是を退け畢竟或が條件は一二の撤回を除ける外悉く彼の承認する所となり彼の提議七條も或は撤回し或は承認して是に談判の終局を見るに至れるなり是に由りて之を觀れば我全權の如何に或條件を堅持し遂に其主張を貫徹せしかを知るに足るべく時に忌しき讓步說撤回說大に起こりて或國人をして大に喜憂せしめたりと雖も此れ所謂杞人の憂に過ぎざりしならん歟固より體面を爭ひ名義を貴ぶの清國に對して徒に此の枝葉を爭ふて會議を遷延するは唯に我國に於て不利なるのみならず清國の爲め又東亞大局の爲め均しく百害あつて一利なき所なれば聰明なる我全權は素より是點に於て多少の讓步をなし以て圓滿なる終局を見んことを勉めたるは殆ど疑ふべからずと雖も名は實の賓なり實あらば復何ぞ名を問はん吾人は我全權が名を捨て〻實を取り以て其主張を貫徹せるを信ぜんと欲する也或る者は曰く此度の會議に於て我國は名義は兎も角實質に於ては得る所少からず嗚呼是によりて東亞亦和平の局を見るを得んと噫乎聰明なる諸君願くば共に枕を高ふして平和を謳歌せんかな

抑も以前述ぶる所は吾人が見聞と推測とによりて得たる概括的結論なり若し夫れ其具體的事實に至りては吾人の知る所頗る些少にして既に諸君に電報せるが如し乃ち我國は露國の後を受けて遼東半島を租借し商業上の目的の爲めに長春以南の東清鉄道を領有し亦安東縣奉天間の鐵道を或年限度に於て清國より贖回するの權利を讓りて承認せしめ以て我國民經濟的發達の血脈とし亦南北滿洲に於ける都市十七八ヶ處を開放して以て世界經濟上の利益を謀ると共に以て强露の南下を抵制せしめ且つ鴨綠江の欝蒼たる森林を日清共同經營の下に置きて兩國の利權を伸長せんと云ふに過ぎざるのみ然りと雖も是れ只吾人の知り得し日清協約の一端に過ぎざるのみにして其詳細の消息は到底吾人門外漢の預り知る所にあらさる也故に吾人は徒に揣摩臆測を逞くして以て世人を或はしむるの愚をなさず唯是の日清協商に於て我提議の十中八九は清國の承認を得たりと云ふに留めんと欲す諸君請ふ諒焉

●野津大將の大石橋通過
別項鐵嶺電報にもある如く昨四日午後六時鐵嶺發凱旋の途に就かれたる第四軍司令官野津大將には本日午後零時二十分大石橋を通過せらるべきに付軍政署領事館日本人會愛國婦人會等は歡送迎を爲す爲め同日午前十一時二十五分牛家屯發特別列車にて大石橋に赴くべしといへば有志の諸氏は同刻迄に同停車塲に集合せらるべしとなり因に歸り列車は午後二時前後に大石橋を發車するを以て極めて便利なりといふ

●新春第一日の光景
明けましてお目出たう、ナーニ浪人に左る小六ツケしい事があるものかなどいへど、新年と爲れば又格別にて、僅に一日を隔て〻昨日とけふとは、恰ながら別天地の如くなり、況して本年の元旦は例年に稀なる好天氣にて、日麗かに風和かに、心地も何となう晴れ〳〵せるは、是れぞ太平の御代の餘澤とぞ仰がれける。十時頃黃塵尺堆の床の中より這ひ出で、社中一同打揃ひて雜煮を祝ひ、何處を當てとも無しにブラリと門を出づ、西北街を東へ步を運べば、町の途切れより遼河を見る、今日の日和に昨來の氷復解け初めしにや、氷の隙間を小さき端艇もて縫ひつゝ漕ぎ行く支那人など見ゆ。日本人會の互禮會に立寄れば、互に六ツケしき顏せる一日紳士の滿面笑みを湛へつゝ頭と頭との衝合せに忙殺せられつゝあるも可笑し。軈て憲兵長來り萬歲の聲に擁せられて會場に入り、軍政長官亦幌馬車を驅り意氣昂然として來る、露西亞式の馬車と見受けたれば、何づれ戰利品にもやあらん、戰後の新年を飾る、最も相應はしと謂ふべし。互禮會も雜沓のみなれば早く辭して軍政署に赴く、今年は廢止と聞えたる門松の儼然として門を衛るあり、踵で入り來たる二十三四許なる商家の番頭さんらしきが、何んだ馬鹿見た！新聞社一本喰はせたナなどつぶやく。領事館に到る、館員諸君の歎待頗る到りて御主人側の上氣嫌なるも多く、領事の氣焔の當る可らざる感ありしは是れも芽出たき新年の徵るしなるべし、更に轉じて軍政署官舍に赴かんとせしも、是れより以往下ロのうろつき廻はる必要も無ければとて踵を轉じぬ。司法部邊りへ來掛ればもう千鳥足なる賀客の東西相織るあり、特に醉顏紅を潮せる人の多きを加へたるが如く感ぜられしは、夕日の業ならんか、急ぐで社に歸る。總じて日中の光景は正月らしくは之れありしも、市況は不得要領にて、餘り活潑にも見受られけざりしが、夜に入りて平野町二本町の賑ひは相應にあり、南家北家、絲竹の聲の絕えさるは、以て屠蘇酒位ゐに蟲の承知せざる剛者の少からざるを知るに足るべく、以て營口の命脈の未だ絕えざるを知るに足らん。

●興倉中佐の名譽
興倉中佐が營口軍政上に貢献せる力の多大なるとは邦人の熟知する所なるが全滿洲に在る諸外國人が擧つて同中佐を德とし贈るに感謝狀と紀念品を以てするに至つては啻に中佐其人の名譽たるのみならず我帝國の爲めに慶賀すべき次第なり、今其顚末を聞くに當營口在留の諸外國人は深く興倉中佐の功を多とし何をがな紀念品を贈りて聊か平素欽慕の意を表せんと計畫中なりしが滿洲の各地に散在せる外國人等は之れを聞き傳へて遠く書を委員に寄せ共に其擧に加はらんことを希望して止まざりしかば終に滿洲に在る總ての外國人を網羅し一月一日午後三時半を期して多數の貴孃紳士等は長官々邸を叩き米國總領事サムモレス氏委員長として感謝狀を朗讀し興倉中佐に贈るに英國製最上金時計一個を以てしたるなりと云ふ該金時計は兩蓋にして其表面には興倉家の定紋三つ樫葉を彫刻し裏面には謹むで興倉中佐に贈る滿洲在留の外國人よりと刻記せり猶當日中佐を訪ふたる百名に近き委員等は中佐に對して萬歲を三唱し中佐の答辭ありてのち食堂に於て三鞭の盃を擧げ午後四時半頃官邸を辭し去れりと云ふ。

●軍政署の休廳
本日は例年の通り新年宴會に付一般執務を廢せりと尙領事館に於ても軍政署同樣休暇せりと云ふ

●二本町の新年宴會
高坂松永其他二三の人發起人となり本日午後六時より祇園閣に於て同町住民の新年宴會を催すと云ふ

一月二日春帆樓上に於て日報社の新年會を催さる拙者も席末に列なるの榮を得て　武州

あさくとも。鵜飼ひあるなり。ながら川。

ゆきだるま。おもしろがるも。手のてゝへ。

ひとふでと。もうしはべられ。身のはめつ。

妓あり一筆と云ふ其腕のすごきよし

もくあんは。ひとまへはかり。さけのせき。

甘黨と云へどなか〳〵もつて

まつしまや。三十三けんのり。わかのうら。

義太をうなならる拜聽して

けふはまた。はをりはかまで。べいかさん。

此お方。洋服で何時も店の机に筆もつ。方なりしが

やすいとて。そのげいとうは。たかいもの。

安井君と申す方裸のコンコンチキ。影繪ナドいろ〳〵の藝を演ぜらる。

むねんなり。スコロフはかい。たいきやくし

某はスコロフ病に罹りたるも今日の盛會に列ならさるはむねんと病床をけつて來られたるも間もなく形を失ふ。

ぼくねんは。みのうへしらず。はだをぬき。

先生は今日の接待係りとて。此寒天にシャツ一枚。おかぜめすなと。きづかはれ。

ありよしは。さけがあるよと。大さかずき。

有吉さんは。さゝがすきとて大杯を飲み廻はし。

よね八か。さよ八か。はつば。おばーさん

老妓より、其名を問へは、皆曰く何八やらと

之もんざか。つくろいかねて。ぼろをだし。

圓鏡は前座のくせに。北州を歌ひたれば

せきばつに。つらなりたとて。おれなくば。

工場中の氣餒家。僕だとて盡す心は同じなりと云ふをきゝ

ふつかめに。みなさんなじみか〻へしめ。

目出度し〳〵

●明日
新年宴會翌日に付休刊

火車

▲上行車時刻表

車站名	開車時分 午	到着時分 午
新民屯至溝幇子	上 六、〇〇	上 九、五七
營口至山海關	上 八、二〇	下 六、〇〇

▲下行車時刻表

車站名	開車時分 午	到着時分 午
北京至山海關	上 八、〇〇	下 六、二〇

野戰鐵道普通輸送列車發着時刻表

大連奉天間　下り列車

驛名	發着時刻
[illegible]	[illegible]

上り列車

驛名	發着時刻	
遼陽	着午後 三、五〇	發 四、五五
大石橋	着 一〇、三二	發 一一、三五
金州	着翌前 二、二〇	發 三、一〇
旅順	發午後 五、三二	
大連	着	

營口線　下り列車

天氣

營口地方 自昨日午後六時至本日午後六時

●回顧錄（承前）

（鐵騎將軍逆襲の一週年）

▲營口義勇團紀事

十二日午前七時より十時半迄の間に署編成を終り各其任務に就けり十一時軍政署よりの情報に依れは敵は今朝大石橋と牛家屯の鐵道を破壞し又牛家屯を去る二十淸里を距る地點に於て電線を切斷せりと

午後一時半守備隊より敵の騎兵牛家屯に來襲せりと當時居留婦女子の當地西稅關に避難するもの多く男子も往々此內に在るを見受く

續て情報あり敵は牛家屯病院に接近し其東方に後續隊を見受くと形勢益々不穩なり各分遣隊に增援兵を派す

午後二時我步兵約一個聯隊今朝遼陽を發し牛莊に向へりとの報あり

午後三時十五分牛家屯方面に當り砲聲を聞き續て敵騎襲來牛家屯兵站司令部に向て攻擊を開始せるの報あり

午後四時我步兵第八聯隊應援の爲め本日當地に來る筈との報あり

四時半我增援隊約八百瀛車にて大石橋より牛家屯に向ふの途中同地を距る遠からさる地點に於て敵騎の一齊射擊を蒙むるも直に下車戰鬪を開始せり

敵は主として我兵站司令部及滿洲軍倉庫に向て砲擊し漸々我塹壕に近つき我軍苦戰最も力む此時に當り義勇團員五百名に下り士氣頗る旺盛にして市中は毫も動搖の色なし然るに外國人の如きは俄に戶々其自國旗を揭け支那人の如き每日揭くる軒頭の日章旗を下し甚しきは露國々旗を揭くるに至れり事態漸く切迫せり我團員は各自其部署に就き何時にても敵の來襲に應するの覺悟を爲せり然れとも當時最も遺憾とせるは前にも記せるが如く武器の不足なりしと是なり故に西部義勇團の如き軍政署に向て市中紳董の所有する銃器彈藥約百挺分集收送附せられたきと及領事館にピストル五十挺の送附を申込みたるも未た到着せさるを以て應急の手段として竹槍を急造し同時に敵騎をして市中を蹂躙せしめさらんか爲め麻繩、鐵線、車輛、サンパン、橇を市街の入口に堆積するの準備を爲すに至れり

午後五時半頃に至り敵の砲擊益盛にして殊に營口兵站司令部は敵の攻擊目標となり苦戰を極む此時敵の砲數十二門我の有する所漸く三門あるのみ加ふろに寡少の兵員を分て一部は搗精所の守備に當てたるを以て防禦の困難更に一段を加ふ然れとも我軍の勇敢なる未た敵をして一步も塹壕を越えしめず且つ搗精所近くには屢々敵の斥候の出沒せるを見るも幸に未た營口市街に襲來し來らす

此際市中支那人間には種々の流說行はれ漸く不安の狀況を呈し來り同時に巡察隊の手に於て敵の密偵と認むるもの數人を拿捕せり

午後六時半敵騎は遂に我兵の擊退する所となり牛家屯方面一帶の砲聲全く止めり同時に宮崎兵站司令官より天祐に依り我兵の死傷極て少し深く貴義勇團の厚意を謝す云々の通知あり後に報告に依り當時我兵の死傷僅に數名敵騎の屍体七十餘を戰場に見るに至れり

夜間に入りては派遣隊及巡察隊に對し益々戒飭を加へ連絡を頻繁ならしめ特に任務視察隊を設け各隊の勤怠を視察せしめたり

午後八時敵騎數百搗精所（營口市街の北端）の東北に來襲せしも我兵の擊退する所となれり

午後十一時前後に至り團員の散するもの多く一時は東西二團を合して百六七十名となれるとあり牛家屯方面敵騎の退却に幾分安心し一家の整理を爲すと共に前日來の疲勞を慰せんとするか爲めに交代に歸家せるものに似たり午後十一時三十分西稅關に避難せるもの男子二十三名女子百十餘名あり男子中には身躰の健全なるにも拘はらす此所に避難せるものありしは聊か遺憾とする所なりき

十三日午前八時情報あり敵の一部はカエーダイフカトンに其一部はタイカントン北方ヒカカホウに在り我步兵はタイカントン及後家油房を占領す砲彈の破片を檢するに敵は九珊臼砲を有す今日午前二三時の頃海城方面に當り砲聲を聞き且つ曳火彈の破裂するを見たり思ふに敵は海城方面に新に戰鬪を開きしか又は同方面より當地に來るべき我援隊と衝突せしならんと午前十時五十分の情報に依れは敵は午前六時死屍五十餘斃馬二頭を遺棄し牛莊方面に退却したり我損害は即死二名負傷十一名なり砲彈の爲に我倉庫三個所に火を發せるも皆消止るを得たり敵の負傷捕虜の言に依れは敵は後備騎兵第八聯隊にしてミツチエンコ將軍指揮の下に運動せり

當時市內一般に堵に安んするの模樣あり然れとも各隊は尙其任務を怠るを許さす

正午情報あり敵は今朝北方に退却し我騎兵之を追擊中なり昨夜敵の戰場に遺棄せし屍体は六十二我の收容せし傷者六、戰線を距る百米突以外の死傷者は夜暗に乘し持去りし如く散亂せる武器等より推察すれは敵の死傷は少くも二百を下らす砲彈を檢するに敵の砲種は七珊知野砲九珊知臼砲三十七密理速射砲なり電信不通の爲め田庄台守備隊の情況不明なるも多分無事ならんと

午後零時二十分柴田領事官補より敵は全く退却したるにより本日午後三時を以て義勇團を解散すへし各部隊は午後二時迄に本部に集合すへしとの命あり

午後三時營口守備隊營內に於て解散の式を擧く柴田領事官補喜多騎兵少佐の挨拶與倉軍政署長瀨川領事の謝辭あり一同撮影の上酒杯を擧て萬歲を三唱し全く解散の式を終れるは午後四時なり別に殘務委員若干名を置き一切の事務を終了したるは十五日の午後なりき

營口兵站司令官及同守備隊長に感謝狀及ひ物品を寄贈せり

終に臨て記すへきは黑澤稅關長以下か西稅關に避難せる邦人に對し懇切に保護せしとなり

●鐵嶺通信

十二月廿九日　筆山生

奥大將を送る

維時臘月二十八日第二軍司令官奥大將には愈々凱旋の途に上らるゝこととゝなり本日正午開原停車場に乘車一時三十分鐵嶺着車と定まりしを以て正午過停車場に赴きたり今其光景を報せんに當地駐在の各兵種は着車に先ち江澤兵站司令部の附近將官休憩所前一面廣地に序列正しく整列せるもの數百將官休憩所は淸洒なる裝飾を施されプラットホームには多數の武官出迎るを見る將官座乘の列車は豫定の時刻を過くる五十分にして二時二十分到着せり大將は參謀長以下十名の幕僚と共に下車され歡迎の各隊に夫々挨拶ありいと滿足に見受けられたり夫れより直ちに休憩所に入られたるを以て各部隊は指揮官命令の下に其位置を歡送の地點たるプラットホームに轉せしめたるか大將以下休憩少時にして再び步を停車場に進む此一行を圍繞し大將は尤も滿足に擧手の答禮を與へられ其車內に入らる列車は轔轆たる響を發して徐々進行を始むるや歡送の一同萬歲の聲壯重に大將以下の名譽ある凱旋將士は車窓に倚りて列車の進むると共に一々答禮を行ひつゝ南下せり將軍當日の英姿を拜するに風貌に於て稍々痩疲せるを見受たるは永く千軍萬馬の間に馳驅して多大の心勞を重ねられたるを偲び諸將の壯快にして沈重なる態度を見ては帷幄の画策勇健なりしを思ひ能く連戰連捷遂に敵を壓して滿洲平和の保壙を築くに至らしめたる滿洲軍の重鎭たりし大將以下に對し萬歲聲迫りつゝ奉送を了れり

奉天戰後將軍滯陣の地は曩さに慶雲堡なりしか六月此地より進んで古城堡に其牙營を進められ半歲の久しき玆に在り一小村莊戶數二百を出てす地は遼河流域を距る四里兩軍對峙の前線後方數里の地にして平野趣味なく地卑濕にして加ふるに水質不良なる一寒村に過さす小茅屋內に不自由なる生活を續けられつゝ征露軍の中堅となり廣袤數里延長約二十里の間無慮十六萬五千の軍を擁しリチウ井ツチ將軍統率の大兵にして遂に寸地も進出する能はさらしめ以て此平和を克復せしむるを餘儀なくせしむるに至らしめし大功は此偉人に於て始めて看るを得へきなり予は名譽ある大將の凱旋に際して其基地に於て歡送の期會を得たるを光榮とせり

廣告

緊急廣告

第三回營口圍碁大會

一月七日正午十二時より祇園閣に於て圍碁大會相催候御希望の諸君は左記發起人へ一月六日中に御申込相成度候

優勝者には景品を呈す

會費三圓當日御持參の事

發起人
軍政署官舍　長崎武英
成功號　久間九郎
神井洋行　神野良
加藤洋行　加藤定吉
高阪洋行　高阪景顯
關盛公司　關七郎
廣濟堂藥房　佐藤才太郎

會席御料理（いろい）
天津日本租界
敷島
新電話百八十六番

東營口郵便局東隣
●島田洋服店●
新民屯停車場前
●同支店●

天津
八千代旅館
開口大和町（元彌生跡）
電話新參〇參番

營口永世街
營口印字局

M. Iizuka,
Contractor,
Architect and Civil Engineer.
Plans and specifications made to order.
Estimates submitted.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

奉天日本旅館
瀋陽館
家屋宏壯淸潔
接待優遇懇切
開放全時ニ開業
奉天小西門外大街路北

寫眞　永淸
奉天府　大南門裡路西

大連　東洋ホテル　大連鐵道停車場附
大連　東洋ホテル　近民政署前通り兒玉町に在り　四階建にして而も
大連　東洋ホテル　高地に建設しあるを以て大連港灣の山水及大連市街の光景は一望の下にあり　和洋客室の設備あり
大連　東洋ホテル　內外貴賓の宿泊に適す

營口
會席御料理
旣に溫泉開業
一力
營口永世街
堀万助
營口

西海洋服店
歐米各國最新流行形
永世街一四一（森病院三軒目）

旅館　營口西北街　高砂ホテル
會席御料理　營口西北街　高砂

◎フレノロジー
頭腦を觀察して身の上はんだんをなす
營口豐濟門街廿三號
李後氏宅の西半町
利生堂

新貨到着安價販賣
一內外雜貨、酒保用品化粧品、洋服シャツ類　男女靴製造靴用皮道具井ニ靴　下駄
（電話一〇六番）
播磨洋行
元神廟街百三十號

旅館開業
今般營口停車場後面に於て旅館營業の御許可を蒙り本日開業致候間御來宿の程奉希上候
十二月二十六日
營口兵站司令部御指定
㊀旅館

一倉庫一棟　四間と七間　廿八坪
位置正金銀行西手至極便利
右賃貸又は讓渡をなす
一電話の讓りものあり
右御望の方は至急御來談あれ
電話一六四
永世街　永世湯

廣告
今般內地より一粒選りの藝妓仲居數十名到着致し墨客粹士樣方の御氣嫌を伺はんと相待ち居候冬枯の空に花を散らし蝶々を舞わしめ玉ふも御一興かと存上候
第三樓　賬房謹白

和洋會席御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
二奉天支店も本店同樣に大勉强仕候間御光來被成下度候
營口永世街二本町　日本館本店
奉天小西門外大十字街北入橋町（電話百三十番）　日本館支店
各位樣

北京
扶桑旅館
東單牌樓大街路西
客室淸潔料理鮮新

御旅館
天津
芙蓉館
駐屯軍御用
並西洋料理
（電話四十一番）

Yano & Co.

矢野洋行

Telephone No. 137 電話一三七

諸雜貨、家道具類、呉服反物、蒲團
婦人用小間物、下駄、足袋、食料
品、其他種々

今回新荷着致候間直段も極安價を以て御用に可應候に付何卒多少に不拘御用命の程偏に奉願上候

謹言

銘酒 白鶴

新荷着大安賣
新年儀式用品

雜貨商

營口元神廟 井門洋行
遼陽西門外 同支店

御菓子製造

○蓬萊豆○青梅○輕燒豆○栗納豆○大綠○松風煎餅○羊羹○朝鮮飴○生干菓子種々

營口永世街乙第二十八號 仁木商店

本家 日本東京神田鍜冶町 堀內大藥房

淺田飴 あさだあめ

肺癆痰喘氣急傷風痰瘕小兒風痰病後體弱肺病一切立見奇功

◎たんせき一切◎肺病の特藥◎ひきかぜ◎病後のよわり◎弱き人の滋藥

特約大販賣 營口永世街 東瀛大藥房

標子
發賣 木板
料水

營口青堆子 清水寧木局

澤亀之醇良にして風味高尚

並ニ 札幌ビール 朝日ビール
政府專賣口付紙卷煙 朝日 大和
酢 醬油 瓶詰樽詰
菓子 罐詰色々
洋酒類 取次販賣

釀造發賣元 宅合名會社

本店 大阪府堺市九間町
小樽支店 北海道小樽湊町
臺北支店 臺灣臺北街書院
基隆支店 臺灣基隆街石牌
臺南支店 臺灣臺南街下南河
函館出張店 北海道函館區辨天町
遼陽出張店 清國遼陽城內西街
大連出張店 清國大連監部
營口支店 清國牛莊港東營口

SPECIAL LIGHT
(PILESNER BEER)

スペシャルライト賣出し

スペシャルライト、はピルスナビールにして此種のビールは日本に於ては弊社始めて之を釀造せり
スペシャルライト、は高價を拂ひて元料を特選せり
スペシャルライト、は其味輕くして高尚なり

釀造元 大阪朝日麥酒株式會社
營口發賣 關東公司雜貨部

雜貨卸商

在元神廟營口街 關東公司雜貨部

御旅館

奉天小西邊門內路北 茂林館

追テ、滿洲各産物毛皮類ノ求ニ應ズ

家屋宏壯接待優遇

大日本帝國醫科大學模範藥局御用酒
攝津灘石崎合資會社釀造

澤之鶴 醇良清酒

滿洲特約大販賣

周 裕和盛號支店
清國營口西北街 電話八十一番

裕和盛販賣品目
○酒保用品雜貨
○日本酒澤之鶴樽詰瓶詰
○洋酒食料品各種
○和洋煙草各種
○菓子類各種

裕和盛本支店所在地
○本店日本長崎梅香崎
○支店清國、芝罘、旅順、鐵嶺、
○支店韓國京城、仁川、木浦、

裕和盛は清商中日本通の張本！
澤之鶴は既に評定ある天美祿！

優等清酒

諸罐詰 雜貨類 菓子類 卸賣

三成組

御德用品 新荷着急告

○食料罐詰○
○塩魚干魚鰹節○
○乾物色々○
○龜甲万印醬油○
○赤白味噌○
○菓子類數種○
○銘茶各種○

林屋洋行 營口永世街警務課前南へ入

滿洲大販賣所

營口出張店は結氷中引揚ゲ候ニ付御用向ノ御方ハ遼陽出張店ヘ御來店アリタシ

遼陽停車場前 池上出張店

雜貨 醬油 味噌 清酒

營口西北 阪神組

列車時刻

唐山至天津　塘沽至北京　天津至北京　山海關至北京

天津至唐山　唐山至山海關　山海關至營口　溝邦子至新民

大連旅順　發　着　時刻

營口至大石橋　發　着

豫報

昨日の氣溫　最高温度三十七度四　最低温度十六度九

宮門抄

初五日

禮部　太常寺　正紅旗值日無引見　睿王假滿請安　克王阿公各續假十日　熙瑛請假十日　植公續假二十日

掌儀司奏十一十二日祭

奉先殿　恭王醇王行禮

召見軍機

提督衙門奏夫父圖姦兒媳不從慘斃人命重犯將驍騎校松山松靳氏常海等三名口請旨交刑部嚴行審訊

初六日

兵部　太僕寺　廂白旗值日商部引見三名　兵部四十八名　都察院一名　廂紅滿十名　正藍蒙一名　內務府十四名　陳曾佑張學華萬理清預備召見

召見軍機　陳曾佑　張學華　萬理清

皇上明日卯正二刻至中正殿拈香

上諭恭錄

初五日奉

上諭本年十二月二十九日歲暮祫祭太廟朕親詣行禮　西廡派延康承蔭各分獻二十八日告祭太廟後殿派溥偉行禮　中殿派載功行禮二十九日祭太歲壇派訥勒赫行禮兩廡派王國楨麒德欽此

論說

論各省添設法律學堂

近聞修律大臣沈伍二君。以中國正當改訂法律之時。不可不通咨各省。廣設學堂。改良法律。且謂北京雖設有法律學堂。但學員四十人。於卒業時。即北直一省。尚難分布。刻擬奏請通飭各督撫將軍。於省垣設法律學堂一處。限一年卒業。視所學程度。分咨臬府州縣。充當裁判官。以實行新定條例。其斯爲探本之言。當務之急乎。今夫天有雨露。而不能無風霜。國有施賞。而不能無刑罰。此中外各國。所以皆設有一定法律。以範圍其全國也。攷其源流。中國法律始於蚩尤。唐虞則鞭官樸敎金贖外。幷用五刑。曰墨劓剕宮大辟。而情有可原者。代以流宥。故曰流宥五刑。夏有禹刑。殷有官刑。及紂無道、罪人以族。宜其不祀忽諸。周興盡除苛法。設司寇之官。一則曰以五刑糾萬民。再則曰以八刑糾萬民。而五禁五戒三刺五听三赦三宥八議諸條。皆所以防之使無犯。恤之以從寬也。及秦始有梟首葅骨斬左右趾與三族之法。漢初約法三章頗善。嗣蕭何定律令。叔孫通益律所不及傍章八篇。漸失初意。文景之世。乃除收孥相坐律。以髡鉗笞代肉刑。幷減輕笞法。海內幾致太平、隋之刑有五。卽誅流刑杖笞也、又有十惡八議之法。後蘇威等重定新律。簡而有要。䟽而不失。故後代多用之。唐刑則書分爲四。曰律令格式。宋因唐舊。而定詳覆之例。緩故縱之誅。寬誤入之辟。嚴流滯之罪。恕不當之讞。尤爲意美法良。元則刑書三易。始曰至元新格。繼曰風憲宏綱。繼曰大元通制。其類亦有三。曰詔制。曰條格。曰斷例。明初定大明律令。後亦屢修。但其條例終不免畸重畸輕。未爲得也。我朝列聖相承。特欽定大清律例一書。爲萬世之宗。其所載共一百七十例。皆仁至義盡。所謂聖人復起。未能或易者也。雖然法有定而情無定。刑罰世輕世重。仍在用之者權乎其時耳。舜典皐陶曰、宥過無大。刑故無小。呂刑曰、上刑適輕下服。下刑適重上服。自古聖人立法以救世。未有不因時準情。以用法。而能輕重適得其平者。況自通商以後。列强環伺。萬國偕來。不獨各大都會。大城鎭。爲外人列肆而居。動起交涉事件。即至窮鄉僻壤。或傳敎。或游歷。亦絡繹不絕。而無賴奸民。我藉入敎爲護符。或以舌人爲職務。目無法紀。陵弱鄉民。庚子拳亂。其變之大者。嗣後華洋交涉。屢有所聞。地方官有稍諳外事。洞悉時宜者。或可敷衍了事。否則激成禍變。百孔千瘡。無他。中外法律不同。外人既不受中國之法律所限制。而中國之人。能自諳法律。持平與爭者。亦無幾。則所以申國憲。正官方、明交涉。重裁判。戒匪彝於已往。而遏佃越於將來者。正宜隨時更定。歸於至當。証之古亦証之今。宜於中亦宜於外。舍多設學堂。改良法律。誠不足爲功也。泰西各國法律。皆大同而小異。西歷一千七十四年。即宋神宗熙寧七年。英國始釐訂法律。過於重者除之。涉於嚴者去之。其他如德法俄意與美諸國。亦相繼纂修。不使稍涉繁苛。盖亦時勢所趨。無一定之法律。與拘守一定之法律。皆不足以昭國法之大公。範人心於罔外也。(未完)

中外要聞

●礎商海參威賠償事件　聞外部人云李家鰲氏日前電禀海參威損傷產業商民作何賠償望大部示知以滿商民之意云云昨外部仍擬與俄使磋商

●中俄開議之消息　聞俄館人云中俄開議中國雖有開議之照會璞欽差昨已照覆謂此事須電達本政府俟本大臣接電即訂開議之期　又聞該館消息現在電線不通璞欽差別項報告亦皆停止未發中俄議約之期恐今歲不能預定也

●俄人擾及邊界　外部昨接陝甘總督來電稱該省邊徼地方匪徒衆聚擾害商民飭營前往勦辦據稱內有俄人混雜不清特希大部轉照俄使速爲電阻否則與匪徒一律剿除以免臨時藉口云云外部接電赶寫照會照會俄使並禀請慶邸如何電覆升吉□云

●直督力辭內用　據官場確實消息　兩宮召見袁督擬任以軍機大臣吏部尙書之任而期改良一切袁以海防多事關繫至要且直隸督任與各國交涉繁難又値振興海陸各軍之際未敢辭此責任因復力辭內用之職　兩宮已允所請也

●擬裁海關庫廳　政府前擬裁粵海關所有一切事宜均歸關務處辦理已將各口文案人員均改委員現在從新整頓聞岑雲帥以海關庫廳一缺亦屬無謂冗員奏請擬即裁撤以節糜費云

●安置世襲之政策　聞政府擬議世襲雲騎尉騎都尉等職從前按月有騎射之課歲有津貼之銀　朝廷待之甚厚食報無窮迨新案賠款將此津貼之款一律裁撤月課亦停雖辦有忠裔學堂而能入其中肄業者甚少擬飭各省標營將所有世職中挑取年力精壯並無嗜好各員弁造具清册彙送聽候分別撥入各學堂肄業從此各忠裔益得其所蔚爲成才不致有向隅失業之歎

●奉天籌款　聞奉天將軍趙次帥電致陝省督撫東事關繫全局百端寔賴財政面奉　諭旨向各省籌辦經費奉天根本重地現値開辦之始需款浩繁急宜竭力籌助當經陝撫電復秦地褊瘠庫款支絀於無可籌措之中勉籌銀四萬兩協濟轉運奉省以期便捷而應急需

●將弁學生之現情　聞直隸將弁學堂自開辦以來由該堂卒業者除外省不計外尙有四百餘員其中苦樂不均惟各人善于運動有升統帶管帶者有考取超等者刻尙有賦閑之學員等因候差不易均已轉請給咨回標營當差夫以標營之腐敗清苦而情願給咨回營當差則其灰心於學堂可知矣

雜報

●俄匪擾掠城市　昨聞北來人云俄人向招募𩆁匪隊若干旅因於前敵覆沒甚多餘者散佚莫可收拾一任其四外掠刦統帥不能箝制現下長春府城肆時有該等擾財卽交易市場手執羌帖銀圓被該等瞥見即行攫去官場莫可如何商民無所赴愬云

●拿解鐵路站役　河北榆營鐵路站役刻待行旅表裏爲奸聞去歲朝廷頒發難民免票二十萬枚該等吞蝕四分之三今歲又頒發苦力車票每人票費六角共十萬枚該等全行吞蝕頃被督辦大臣暗派祕查委員偵悉一切弊竇據實禀覆昨晨河北車站忽來衆兵圍拿五十名無一脫網者俱置於鐵壁車內扃鍵車門解往天津云

●軍署面諭　聞本埠軍憲面諭商民云時屆隆冬遼河冰將堅凍而往來車馬客商絡繹不絕馬賊竊匪易於溷跡乘間肆行刦掠亟宜稽查以靖地面除飭巡勇等不分晝夜查拿外合行告爾各商等尤宜合衷共濟衆相稽查倘有來歷不明形跡可疑者一切不准留宿免使該等有所托足夜或遇警走報軍署不及急禀於附近派遣所憲兵兜拿如車主被賊等掩不得出其左右比鄰就近商鋪急向軍署打得律風無得律風速暗遣人奔報愈速愈妙務盡守望相助之至意切勿袖手坐視致干觀望之咎切切特諭

叢談

●騙米　村塾延師每於脩金之外並供膳米有塾師散館歸餘米數包附渡載返意頗自矜或思有以嘲之乃故問曰先生昔孔子阨於陳如何得免師答曰賴子貢援於楚耳客曰固知之然求援時作何語師以弗得其詳對客曰據余所聞子貢至楚昭王曰端木先生素號高明寡人有一聯若能對即當如命乃出聯云孟孫問孝於我我對謂須切本身且用論語子貢即對曰賜也何敢望回回昭王大贊賞既又云更有一聯如再能對不特赴援且以糧助聯云父毋干戈朕琴朕弤朕二嫂子貢復對曰達尊三爵一齒一德一朝廷王大悅乃命將帥兵賚糧而往子貢先復命述諸孔子孔子曰虧汝能言米亦騙得矣其如點書不斷何

●食蕉　某甲設一雜貨肆兼賣生菓店中惟一伙一甥與甲而已但甥年少無知每見佳果輒恣朶頤且以白糖點香蕉而食甲因姊溺愛未便過責始給之日此物性相妨多食則能致死甥信之遂不復食一日有客市油一埕命甥送往收銀詎中途閃跌埕破油傾懼無以復命乃急歸肆默不一言惟取香蕉點糖狂啗不已甲怪而問之甥不對固詰乃云我今要死了甲叩何故甥對以油既傾去自討無力能償惟有畢命而已甲聞言目瞪口呆乃嘆曰汝不必死我則眞要死了

NEWCHWANG, FRIDAY, JAN. 5, 1906.

As previously hinted at precisely at 2.30 p.m., on New Year's Day, the delegation of foreign residents in Manchuria, headed by Mr. T. Sammons, Chairman of the Committee, about 100 strong, both ladies and gentlemen, streamed into the spacious drawing-room of Lt.-Col. Yokura's residence. The Consular and Customs services, mercantile and nautical communities, and also missionary circles were each strongly represented. The appearance of the Administrator was the signal for a chorus of the popular convivial song: "He is a jolly good fellow," from the enthusiastic delegation, winding up with three lusty cheers.

When the greeting outburst subsided, Mr. Sammons, with an appropriate introductory remark, presented to Lt.-Col. Yokura a gold watch of superb workmanship, which bore the recipient's coat of arms engraved on the outside of the lid, while, on the inside, there was an inscription reading, "To Lieutenant-Colonel Yokura from his Foreign Friends in Manchuria, as a token of their friendship and esteem." The Chairman then read the address of presentation which ran in substance as follows: "We, the undersigned Foreign Residents of Newchwang, and other parts of Manchuria, would be extremely gratified by your acceptance of the accompanying watch, as a slight token of our friendship and esteem. We take this opportunity of expressing our great appreciation of the unfailing kindness and hospitality you have always displayed towards us, and our sincere wishes for your continued welfare and prosperity." (The memorial is to be formally handed to the addressee after all signatures have been collected.)

Lt.-Col. Yokura, in accepting the magnificent gift, replied in brief to the following effect. "As a friend of Foreign Residents in Manchuria, I am afraid to have been an unworthy one. As to thanks, many are due to you from me for all the support given officially and personally. And yet, you have bestowed on me the warm expressions of good wishes, which, to my judgment, I fall quite short of deserving. You have overwhelmed me with gratitude by adding to the written expressions such a handsome New Year gift, which shall be kept close to my heart as a happy remembrance of my foreign friends in Manchuria. Both memorial and watch shall be left to my heir for a bequest of honour and a precious family treasure. I request that the Committee of the Delegation will convey my heartfelt thanks to those ladies and gentlemen whom I am unable to thank in person here on account of their forced absence."

The ceremony being over, the company were asked into the refreshment-room where hearty toasts were mutually exchanged. Rev. Mr. Webster delivered a brief address of warm personal regard to the genial host on behalf of the foreign missionaries in Manchuria. To this was returned the modest response that the tribute was far from deserved.

We learn that Mr. R. K. Kniffert, Asst. Examiner of the Customs, has been promoted to a full Examiner and transferred to Kiaochou, leaving for the southern port Thursday week. Mr. Kniffert has been one of the most faithful, conscientious workers in the service. While his promotion is more than merited, his loss is to be very much deplored for the Newchwang Customs. We wish him further success.

Mr. and Mrs. Clarke gave a New Year banquet last Tuesday evening. Mrs. Ross Thomson, Dr. and Mrs. Daly, Rev. Mr. and Mrs. Webster, Mr. Nikitine, Mr. Kurosawa, Mr. McAllum, Mr. H. F. Bush, Mr. Oudin, Mr. Geo. Thomson, and Mr. C. G. Bush were present. Lt.-Col. Yokure was also invited, but in press of official claims on his time, was obliged to send his regrets.

Mr. Ross Thomson departed for Shantung Province last Wednesday on a business trip and will not return home before the middle of February next.

The Administration Office will close to-day (Friday) due to another Japanese holiday Shinnen Yenkwai (新年宴會), on which H. I. J. M. the Emperor holds a grand New Year banquet at the Imperial Palace. In this function, all prominent foreign representatives in the Capital are also invited to take part. No issue of the "M. D. R." will appear to-morrow (Saturday.)

The river has not frozen fast yet. In fact yesterday's south wind seems to have cleared away most of the floating ice, leaving just a little near the north shore—a really extraordinary phenomena for the January weather at the port.

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館 第一營口ホテル 元神廟街九十六號

旅館 第二營口ホテル 河岸通り

料理 第三樓 元神廟街三十二號 店主 粕屋忠兵衛

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷 初次郎

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號 正金銀行西三程

旅館 千代田旅館 永世街甲八十七號 店主 高橋きみ

料理 沖の島 永世街十八號 店主 中川彌三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館 竹村館 永世街二十二號（電話五一） 店主 麻田久二

旅館 高砂ホテル 料理 高砂亭 西北街 店主片山小みつ（電話一四五番）

旅館 名美屋 永世街森病院前 館主 西野末松

南洲旅館 御用達商 濱田新之助 南永世街拾八號

旅館 彌生館 永世街百六十七號

料理 やよひ 永世街百六十七號 店主 宮下只七郎

料理 滿月 平野町百八十二號（電話一六二） 店主 青木勝恵

料理 滿洲樓 西北街二百五十二號 店主 重塚勝一

料理 萬梅 豐濟門街第百〇四號 店主 田島彌助

御料理 まんなをし 永世街字二本町二百五十九号 元吉田屋跡 店主 和田常松

料理 松廼家 元神廟街 矢野洋行向ひ 店主 山本壽三郎

料理 醉花園 旅館 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

旅館 大利館 永世街六號

料理 第二大和館 永世街百六十六號 店主 前田九一郎

料理 曙館 永世街平野町 營口座向

旅館 金城ホテル 永世街百六十六號 料理 第二金城ホテル 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

營口軍政署御用旅館 東雲 主任 谷口今朝太郎

遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽倶樂部 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

きるそば 第一更科 營口元神廟街
さるそば 第二更科 永世街鶴の湯角

琴 三味線處 并に張替附屬品一切 永世街八十五號二本町角 土生音樂堂

和洋御料理 東京一流 かき飯 第二東京館 元神廟街 店主 松田平四郎

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業 日營ホテル支店 主任 井上源吉

御料理會席 菊水館 主任 朝枝園

旅館西洋料理 遼陽館 主任 永瀬宇吉

旅館料理業 公陽館 主任 宮川秀基

御料理會席 末廣屋 主任 山根初之槌

御料理 色々應御注文 凱旋亭 主任 古谷庄太郎

旅館御料理 遼塔ホテル 主任 木村虎吉

會席 玉家 主任 西野治三郎

御料理會席 來々亭 主任 石田

萬事勉强 乗車乗船好位置 營口中央市場前 旅館 東京樓 店主 熊田兼次郎（電話百七十八番）

即席和洋料理 東京樓支店（電話四十四番） 西洋料理仕出し御需に應ず

弊店義開業以來御華客様の御愛顧御引立に預り千萬奉謝候偖て今度遼陽に支店を設け旅館會席御料理相營み可申候間本店同様御負屓御引立の程偏に御願ひ申上候先は御禮旁々御披露迄早々

營口元神廟街第百三十三号 和洋料理 松月亭
遼陽城内西街百十七号 旅館 和洋料理會席 滿洲ホテル
御客様各位

會席料理 三日月 營口警務課前南に入る

喜久洋行
●白米 ●石炭 ●干魚 ●建築用材木 ●糯白米 ●木炭 ●鹽魚 ●洋釘 ●亞鉛板
營口永世街八十號 喜久洋行（電話百五十二番）
御小賣致候間御用の節は電話又は端書にて御通知次第直に持參可仕候也

酒保品 諸雜貨 御商 神崎洋行 營口永世街甲百廿七號警務課前
▲其ノ外新荷着種々安價大勉强▼

倉庫業
倉庫位置 營口綏定門街（公和窰）院内
郵船會社碼頭ヨリ西二丁余商船會社碼頭筋向イ河岸ヘ半町ニシテ馬車ニ陸場ゲ便最適當ナル位置
新玉號倉庫部（電話一五七號）

東洋醫院 竹村旅館ノ側ヨリ河岸ニ通ズル横町ノ中央角（永世街十八号） 午前宅診 午后往診 入院隨時 山田長

爲替相場（一月四日）

日本向 軍票百圓に付金九十圓
上海は 百圓に付六十七兩四錢五分
天津向は 百圓に付一百〇八圓

日本品最近物價表 加藤洋行調査

菊正宗 樽物類 三斗九舛入 銀二十圓
麒麟正宗 四斗四舛入 同十七圓
菊正宗 四斗四舛入 同十五圓
鮪 四打入 同十三圓
ラッキヨ 五打入 同十四圓五十錢
辛子漬 四打 同九圓五十錢
フキ 全 同八圓
鷲ミルク 全 同十八圓
菓子類 寳來豆 百斤入 同二十六圓
滋養豆 全 同二十五圓
加藤洋行

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy. 80 cts. per month.

本紙定價 一枚ニ付 銀四仙 一ヶ月前金 銀八十仙 半ヶ年前金 四弗八十仙 一ヶ年前金 銀九弗六十仙

加藤洋行 SK

酒保諸君急告

弊店儀今回酒保品全部相片付け度特別大見切賣致す可く候に付至急御來店の上御相談被下度願上候也

●麒麟正宗 ●諸罐詰類 ●巻紙、狀袋 ●菓子、砂糖

其他諸雜貨一切取揃へ誠實を旨とし精々勉强仕る可く候間多少に拘らず御用命被下度奉願上候

加藤洋行（電話八十番）

菊正宗半樽 殊に 麒麟正宗は精選の上料理店向として輸入したるもの、砂糖、蜜柑、罐鯛、罐鮭、其他 諸罐詰類 會席用諸道具、重箱、いろ〳〵の 勝手道具 荒物類も澤山參りました、

いろ〳〵年用のものを取揃へ平素の御ひゐきに酬ひん爲聊かながら景品を添へまして當る十六日より二週間歳暮の賣出しをいたしますからどうか賑々しく御光來の程を願ます